

世界の繊維需要、2年連続の減少---2009年

米国の Fiber Organon 誌が、2009年の世界の繊維需要と化繊生産を発表した。世界同時不況の影響もあり、繊維需要は前年比 1.0% 減であった。天然繊維の需要が落ち込んだ。化繊生産は 1.5% 増の 4,630 万ト。オレフィン繊維は減少が継続したものの、合繊（オレフィンを除く）とセルロース繊維は前年の減少から増加に転じた。

1. 2009年の世界の繊維需要

2009年の世界の繊維需要は前年比 1.0% 減の 6,960 万トンで、世界同時不況の影響もあり 2年連続の需要減となった。化繊が 1.5% 増の 4,630 万トンと増加に転じたものの、天然繊維が 5.7% 減の 2,340 万トンと大きく落ち込んだ。

化繊の内訳は、オレフィン繊維が 4.5% 減の 572 万トンと 2年連続の減少。一方で、合繊（オレフィン繊維を除く）が 2.0% 増の 3,780 万トン、セルロース繊維が 8.6% 増の 276 万トンとなり、化繊全体では 1.5% 増の 4,630 万トンとなった。しかしながら、2007年の 4,770 万トンはなお下回っており、本格回復は 2010年を待つものとなっている。

天然繊維では、綿（コットン）が 5.9% 減の 2,200 万トンと大きく減少した。2003年の 2,170 万トン以来の低水準である。羊毛は 2.0% 減の 117 万トンで、3年連続の減少。絹は 4.7% 減の 14.1 万トンで、2年連続の減少であった。

表 1 . 世界の繊維需要

(1000トン、%)

品種	2007	2008	2009	前年比
セルロース	2,914	2,545	2,763	8.6
合繊（オレフィン除く）	38,403	37,023	37,771	2.0
オレフィン	6,422	5,994	5,721	-4.5
化繊計	47,738	45,561	46,255	1.5
綿	26,331	23,428	22,048	-5.9
羊毛	1,221	1,191	1,167	-2.0
絹	156	148	141	-4.7
天然繊維計	27,708	24,767	23,356	-5.7
総計	75,446	70,328	69,611	-1.0

（出所）Fiber Oranon、以下同様

（注）化繊は生産、その他は消費統計に基づく

2. 地域別合繊生産

世界の合繊（オレフィン繊維を除く）生産は 2.0% 増の 3,780 万トンであった。2008 年は史上 6 度目の前年割れとなり、2009 年は回復を示したものの、リーマンショック前である 2007 年の 3,840 万トンを依然下回った水準であった。

国別・地域別には、日韓台を除くアジアが増加した一方で、欧州、米州、中東・アフリカ・オセアニアは減少となった。アジアシフトがさらに鮮明化し、世界に占めるアジア（日本を含む）の割合は、2008 年の 84.9% から 2009 年は 87.2% に拡大した。とりわけ中国が前年比 145 万トン増と突出した増加となり、中国の世界に占める割合は 58.6% から 61.2% に拡大した。中国に次いで増加量が大きかったのがインドの 30.8 万トンで、中国・インドの世界に占める割合は 65.8% から 69.1% に拡大した。世界の合繊生産は、9 割弱をアジアが生産、7 割を中印で生産、6 割を中国が生産するという、地域偏重型の構造が強まっている。

表 2 . 世界の地域別合繊*生産

(1000トン、%)

品種	2007	2008	2009	前年比	同増減	構成比
日本	901	771	570	-26.1	-202	1.5
中国	21,357	21,681	23,130	6.7	1,449	61.2
韓国	1,540	1,355	1,301	-4.0	-54	3.4
台湾	2,345	1,947	1,899	-2.5	-48	5.0
ASEAN	2,457	2,472	2,480	0.3	8	6.6
インド	2,653	2,669	2,978	11.6	308	7.9
その他アジア	573	551	585	6.3	35	1.5
西欧+トルコ	2,383	1,974	1,679	-15.0	-296	4.4
東欧・CIS	572	544	434	-20.2	-110	1.1
米国	2,312	1,908	1,615	-15.4	-294	4.3
その他米州	871	757	721	-4.7	-36	1.9
中東・アフリカ・オセアニア	441	393	380	-3.1	-12	1.0
世界計	38,403	37,023	37,771	2.0	749	100.0
中国以外の計	17,046	15,342	14,642	-4.6	-700	38.8

(注) *オレフィンを除く

韓国は 4.0% 減の 130 万トンで 2 年連続の生産減。台湾は 2.5% 減の 190 万トンで同じく 2 年連続の生産減となった。韓国、台湾の数量面でのプレゼンスはさらに低下した。ASEAN はベトナムが 21.6% 増の 17.5 万トンとなったが、タイが横ばい、インドネシア、マレーシアが減少となり、全体ではほぼ横ばいにとどまった。「その他アジア」ではバング

ラデシュが2万トンから6万トンに増加している。量的ボリュームはまだまだ小さいものの、日本でチャイナ+1の縫製基地として着目されているベトナム、バングラデシュの合繊生産が拡大していることが注目される。

西欧・トルコ、米国は、2008年に引き続き大幅減となり、それぞれ前年比15.0%、15.4%の減少となった。東欧・CIS、米州(米国を除く)、中東・アフリカ・オセアニアはいずれも減少した。

なお、中国の2009年の合繊生産は、同国の国家統計局によると前年比15.2%増の2,435万ト。一方で、Organonによると6.7%増の2,313万トで、100万ト以上の開きがある。ポリエステルが国家統計局によると、2,204万トであるのに対し、Organonが2,093トで大きく差があるが、詳細は不明である。

3. 品種別合繊生産

合繊生産を品種別にみると、ポリエステルが前年の減少に続き、1桁の増加にとどまった。うちフィラメントは前年比3.8%増の1,960万トン、ステープルが1.9%増の1,240万トンであった。フィラメントは2007年水準を上回ったが、ステープルは依然下回っている。ポリエステルの伸びは低いものの、その他の品種がさらに低調であるため、ポリエステルの合繊に占める割合は、2008年の72.0%から2009年は73.4%に拡大した。

2008年は24%減と大きく減少したアクリルは、前年比5.5%増の194万トンで5年ぶりの増加。オレフィンFは5.5%減の468万トンで2年連続の減少であった。ナイロンFは7.3%減の310万トン。オレフィンSは前年比ほぼ横ばいの104万トで、長期減少に歯止めがかかった形となった。

表3. 世界の品種別合繊生産

(1000トン、%)

品種	2007	2008	2009	前年比
アクリル	2,407	1,837	1,938	5.5
ナイロンF	3,617	3,342	3,098	-7.3
ナイロンS	337	254	207	-18.3
ポリエステルF	18,957	18,867	19,579	3.8
ポリエステルS	12,449	12,124	12,358	1.9
オレフィンF	5,276	4,955	4,684	-5.5
オレフィンS	1,146	1,039	1,037	-0.2
その他	636	600	592	-1.3
総計	44,825	43,017	43,492	1.1

ポリエステルFでは、最大生産国の中国が6.8%増の1,345万トン、インドは10.8%増の186万トンであった。一方、台湾は4.8%減の96.3万トンで、1992年以来の100万トン割れとなった。中国の世界に占める割合は66.7%から68.7%に上昇した。ポリエステルSは、中国が5.2%増の748万トン。インドが14.6%増の93.9万トンと増加した一方、米国が18.2%減の52.8万トンになる等、その他は軒並み減少した。中国の世界シェアは58.7%から60.5%に拡大した。

アクリルでは、最大生産国の中国が23.4%増の68.4万トン、トルコが1.4%増の25.6万トンであったが、西欧(7.0%減)、日本(11.3%減)は減少した。ナイロンFでは、中国が7.2%増の116万トンとなった一方、米国は主力のカーペット用の不調が続き16.2%減の51.1万トン、台湾(14.2%減)、西欧(16.2%減)も2桁減であった。

4. セルロース繊維生産

セルロース繊維の生産は前年比8.6%増の276万トンと回復したものの、2007年の291万トンまでには回復に至っていない。

国・地域別には、日本、西欧、旧ソ連、米国が減少を続けている一方、主要国の中国、インド、インドネシアが増加に転じた。

品種別には、衣料・家庭用に使用される普通レーヨンF(キュプラを含む)は、全体の7割超を占める中国が増加(2.3%増)したものの、その他が減少したため、全体では1.2%減の28.5万トン。アセテートFは29.5%減の4.4万トン。タイヤコード用等に使用される強力レーヨンは13.7%減の5.2万トン。レーヨンSは11.6%増の238万トンであった。

表4. 世界のセルロース繊維*生産

(1000トン、%)

国・地域	2008	2009	前年比	品種	2008	2009	前年比
日本	69	55	-21.1	強力レーヨン	60	52	-13.7
中国	1,207	1,401	16.1	普通レーヨンF	289	285	-1.2
インド	301	327	8.7	アセテートF	62	44	-29.5
インドネシア	282	295	4.6	レーヨンS	2,135	2,382	11.6
台湾	106	115	9.4	計	2,545	2,763	8.6
タイ	80	104	29.7	(注) リヨセル繊維を含まない。			
西欧	422	381	-9.6	世界のリヨセル繊維の生産能力は推定年産13.5万トン(2009年3月)			
旧ソ連	9	5	-51.1				
米国	23	17	-25.0				
ブラジル	16	30	90.6				
その他	31	32	4.9				
世界計	2,545	2,763	8.6				

4. オレフィン繊維生産

オレフィン繊維の生産は前年比 4.6% 減の 572 万トン。中国、アジア（日本・中国を除く）は増加したものの、その他の国・地域は減少となった。特に米国は 18.7% 減と大きく減少し、同国に代わって中国が世界最大のオレフィン繊維生産国に台頭した。

品種別には、紡糸繊維のフィラメント、同ステープルがそれぞれ 7.6% 減、2.9% 減の減少。スリット・フィルムファイバーは微減となった。

表 5 . 世界のオレフィン繊維生産

(1000トン、%)

国・地域	2008	2009	前年比	品種	2008	2009	前年比
西欧	1,409	1,393	-1.1	紡糸繊維 F	2,706	2,499	-7.6
トルコ	293	283	-3.4	紡糸繊維 S	1,039	1,037	-0.2
米国	1,168	950	-18.7	スリット・フィルム	2,249	2,184	-2.9
日本	176	153	-13.1	計	5,994	5,721	-4.6
中国	997	1,019	2.2				
その他アジア	785	810	3.2				
中東・アフリカ・豪州	496	495	-0.2				
その他	669	620	-7.3				
世界計	5,994	5,721	-4.6				

(担当：杉原)